



レモン

『好きです』

この一言が言えない

伝えたい気持ちはたくさんあるのに

どうしても言葉にできない

そしてまた

後ろ姿を見つめるだけ

心

知れば知るほど
好きになればなるほどに
あなたの心へ 入り込めない自分がいて

鍵のかかった その扉を
私には 開けることができるのかと
不安が頭をよぎるから
泣いてしまいそう

それでも 今
あなたの心に写っているのは
私であってほしいから

その鍵を持っているのも
私であってほしいから

星

暗いくらい 夜空に浮かぶ
小さな 一番星
きらきら きらきら 輝いて
今の私には眩しすぎる

それでもまた 見上げてしまうのは
あなたのその輝きに
心を奪われるから

となり

もっと早く
出逢いたかった

もっとずっと
傍にいたかった

喪失

いない

夢なんか いない
希望なんか いない

あなたの いない
毎日なんか いない

伝心

あなたには聞こえてる？

この雨音

あなたには見えてる？

このまぶしい太陽

あなたには届いてる？

この胸の アツイ気持ち —

願い

もし私が
ここからいなくなったら
あなたは泣き崩れて
喪失に苦しんでくれますか？

世界

このココロを蝕む

君が 最期に放った
死の弾丸

そばに

うれしい時 楽しい時
私のそばにいてくれた
悲しい時 つらい時
私のそばにいてくれた

いつも
黙って私のそばにいてくれたね

何気なく過ごしている毎日も
そばにいてくれる人がいるから生まれたんだ

だから
私も あなたの毎日を作り出す力になりたい

いつも 黙ってそばにいるよ
ずっと

声

苦しくて 苦しくて 苦しくて

君の名を呼ぶ

経過

朝なんて 来なければいい
新しい一日を迎える準備なんて
私には出来てないよ

いつも
過去を引きずったまま

あなたを
引きずったままで

確信

人の気持ちなんて
いつも揺れ動いている 動かされている
そんな 不確かなもので
そんな 弱いものだけど

それでも
君へのこの想い それだけは
確かめられてる気がする

君

君はいつも
楽しそうに 嬉しそうに
今を生きてるね

まるで
私が入る隙間なんて ないみたいで

私はいつも
辛い時でも 悲しい時でも
君を想ってるんだよ

その気持ちが いつか君に
届きますように

想い

君が笑うなら

君が 歩き出せるなら

僕は喜んで

ナミダさえ受け入れるよ

本性

愛という名のエゴに

狂ってしまおうじゃないか

記憶

今はもう 見えない

色濃く刻まれた

君の横顔

本心

いつも強がる自分だけど
でも
きっとひとりではられない

そんな時
君の大切さに気づく